

取扱説明書

薬剤ポンプ

SS-DP125S

実り豊かな明日をひらく

株式会社 **スズテック**

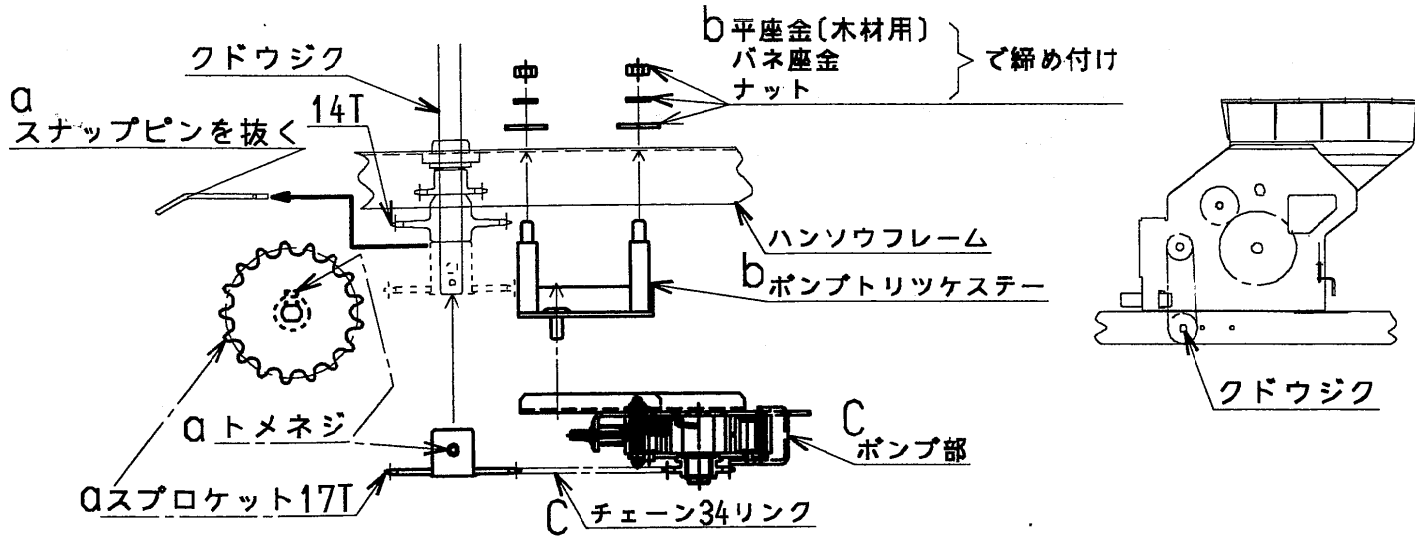
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代表/TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>



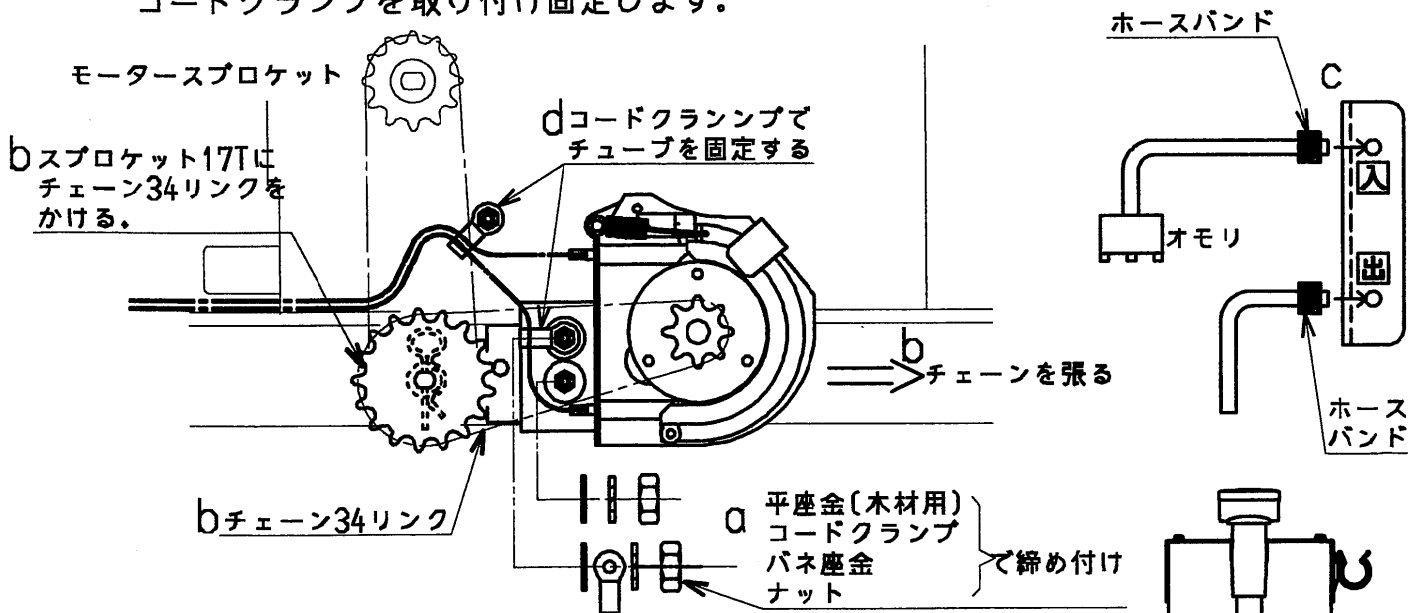
当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをする
と、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

1. 組付要領

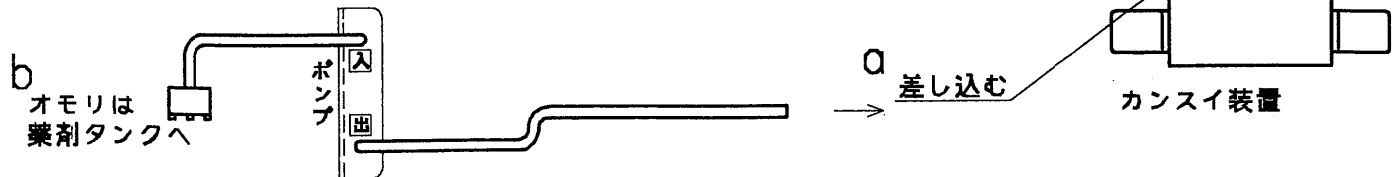
- ①. a. クドウジクのスナップピンを抜き、スプロケット17Tを取り付け、トメネジを六角棒スパナで締め付ける。
- b. ハンソウフレームにポンプトリツケステーをM6ナット、バネザガネ、ヒラザガネを組み付けスパナで締め付ける。
- c. スプロケット17Tとポンプ部のスプロケットにチェーン34リンクを掛けます。



- ②. ポンプ部を組み付けます。
- a. M6ナット、バネザガネ、ヒラザガネ、コードクランプを仮止めします。
- b. チェーン34リンクを張り、M6ナットを締め付けます。
- c. ポンプ部のセッシュに付属の細いビニールパイプを差し込みます。オモりのついたパイプはポンプの **入** シール側のセッシュに差し込み、オモりのついていないパイプはポンプの **出** シール側のセッシュに差し込み、それぞれホースバンドで抜け止めします。
- d. ビニールパイプはチェーン・スプロケットに巻き付かないように下記の位置にコードクランプを取り付け固定します。

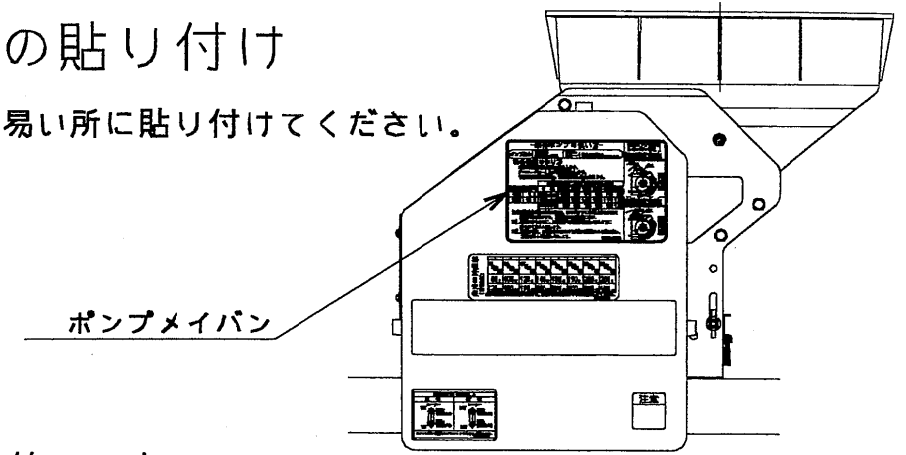


- ③. a. ポンプの **出** 側セッシュに差し込んだパイプは、灌水装置の **ポンプ接続口** 側のセッシュに差し込みます。
- b. オモりのついたパイプは、薬剤タンク(バケツ)に入れます。



2. メイバンの貼り付け

ポンプメイバンを見易い所に貼り付けてください。



3. 消毒液の作り方

本装置は1箱当たり50cc消毒液をカンスイ装置に注入します。薬剤の基準量は、ダコニール1cc~0.5cc/箱とします。1箱当たり50倍液で1cc、100倍液で0.5ccとなります。下表を参考に消毒液をつくります。

播種箱数	準備水量	倍率	500	600	700	800	900	1000
100	5 l	薬剤(cc)	100	83	71	63	56	50
200	10 l	薬剤(cc)	200	167	143	125	111	100
(調合する倍率)			50	60	70	70	80	100

(消毒液のつくり方：例)

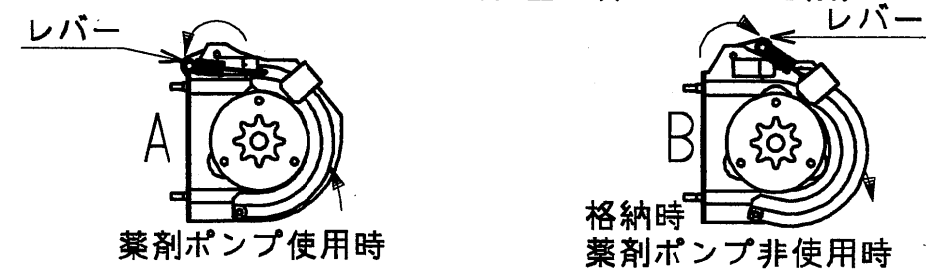
たとえば希望の消毒液濃度が700倍液で200箱播種する場合、バケツに10 l水を入れて、薬剤143cc溶かします。

補足

1. 消毒液は最後までポンプでは吸いきれませんが、多めに準備しましょう。
2. 薬剤が沈殿しないように時々かくはんしましょう。
3. 薬剤は粉剤よりも液剤を推奨します。(カンスイパイプの目詰まりが少ない為)

4. 作業後の手入れ

作業が終わりしたら、播種機を空運転しカンスイ装置は清水を流し、薬剤ポンプは清水を吸入させてカンスイ装置内・ポンプ内の残留薬剤を洗い流します。その後、カンスイパイプを外しパイプクリーナーで内部を掃除します。薬剤ポンプ・カンスイ装置とも内部の水を完全に抜きます。薬剤ポンプは図(B)のようにレバーを起しチューブの変形を防ぎます。作業中でも薬剤ポンプを使用しない場合も図(B)のようにレバーを倒します。再度ポンプを使用する時はレバーを使用位置に戻します。図(A)



シリコンチューブが変形や破損している場合は交換してください。(シリコンチューブ1本付属しています。)